

橈骨骨幹部粉碎骨折後に正中神経麻痺および屈筋腱癒着を呈した症例に対するカックアップ装具および着脱式対立・運動補助装具の臨床経過に関する症例報告

1. 研究の対象

2023年8月から2024年7月までの期間に、南和歌山医療センターにて橈骨骨幹部粉碎骨折を受傷し、骨接合術後に正中神経麻痺および屈筋腱癒着を呈し、手関節固定および手指機能補助を目的とした装具療法を実施した患者。

2. 研究目的・方法

橈骨骨幹部粉碎骨折後に正中神経麻痺および屈筋腱癒着を呈した患者さんについて、診療録に記載された既存の情報を用いて、手関節固定を目的としたカックアップ装具および母指・手指機能補助を目的とした着脱式装具の設計内容と臨床経過を後向きに整理し、今後の前腕外傷後における装具療法および後療法の検討に資することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、診断名、受傷機転、外固定内容および期間、装具設計の内容（ミュンスター型装具および着脱式アウトリガー装具）、装具使用後の経過（手関節および手指の関節可動域、母指対立動作、皮膚トラブルの有無、装着状況等）、診療上必要に応じて撮影された前腕および手関節の単純X線画像（新たな撮影は行いません）。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒646-8558

独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター

研究責任者：所属 リハビリテーション科

氏名 藤澤 秀生

電話：0739-26-7056